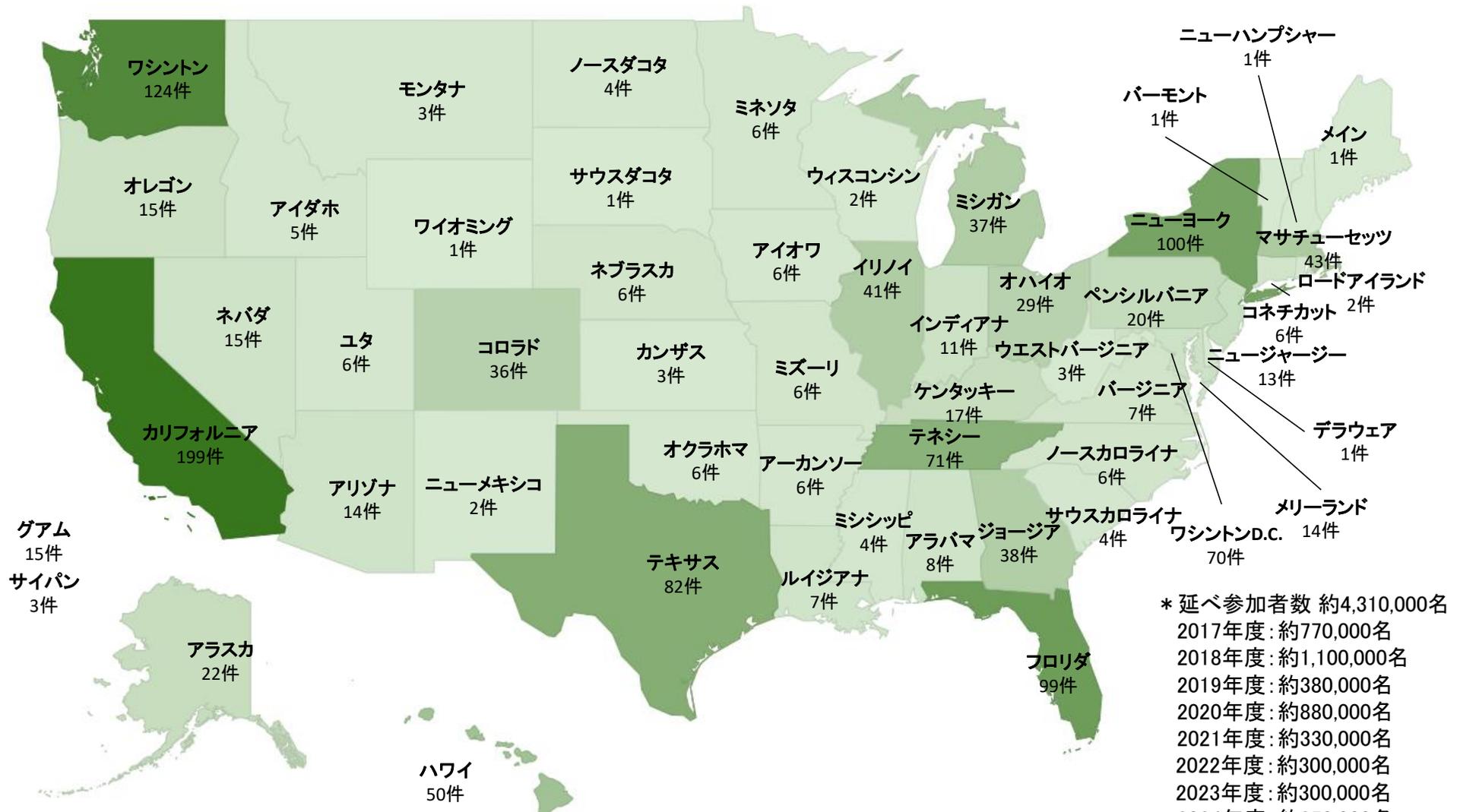


2017年度－2024年度の案件実施状況(地域別累計実績)

資料1

2017年度以降、日本企業による米国での投資・雇用創出への貢献の発信や、日系企業支援(含む技術等の紹介)、日米サプライチェーン協力案件、日本関連イベント等の事業を実施(2024年度実施案件104件、2017年度からの累計1,292件)。



グラスルーツからの日米関係強化に関する政府タスクフォース 2024年度 of 取組 (代表例)

2024年度 of 代表的な案件 (ベストプラクティス)

(1) 輸送インフラに関するワークショップ(フロリダ州マイアミ市)(2024年10月)



- フロリダ州最大の都市圏であるマイアミ都市圏を走る高架式の都市高速鉄道である「メトロレール」について、2016年から日系企業の新型車両の導入が進み、先般同企業のシステム導入が完了するなど、近年同地域と日本の協力関係はより強固なものとなっている。
- こうした取組をフォローアップするため、広域マイアミ圏商工会と共催で、マイアミデイド郡交通局を含む**地方政府、マイアミ国際空港及び日米の輸送関係企業**を招き、鉄道を中心とした**幅広い輸送インフラに関するワークショップ**を実施。**日本企業の実績や展望**のアピールのほか、輸送インフラ事業に関する日米のビジネス連携に関し意見交換を実施し、**日米のさらなる経済連携強化の重要性**をハイライトした。

(2) 企業におけるSTEM分野女性活躍推進パネルディスカッション(ニューヨーク州ニューヨーク市)(2025年3月)



- 産学連携を通じたイノベーションの重要性が高まる中、**科学技術分野(STEM分野)における女性研究者及び女性管理職の育成**は、日米両国にとって重要なテーマ。
- STEM分野の中でも、女性の活躍を推進する団体を運営するリゴス・マサチューセッツ工科大教授、加納米国日本人医師会会長等、医療・バイオ系分野における日米の女性研究者を交え、同分野における**イノベーションの競争力強化、STEM分野における日米間の連携、技術経営戦略、女性研究者のキャリア形成及びリーダー育成**等についてパネルディスカッションと質疑応答を実施。

(3) 日米をつなぐデュアルユース・テック・セミナー(カリフォルニア州パロアルト市)(2025年3月)



- 技術の軍民両用(デュアルユース)は日本の安全保障に係る喫緊・枢要な課題。カリフォルニア州に本部を有する**米国国防総省ディフェンス・イノベーション・ユニット(DIU)**及びスタートアップを含めた**日米の企業**が登壇し、AIを活用した軍事行動等の見える化・分析、無人航空機や半導体の**サイバーセキュリティ向上、バイオデータの活用**、そのほか最先端のソリューションやアプリケーション等、**日米双方の最新の動向・技術・取組を共有**。
- デュアルユース・テクノロジーへの参入に関心を寄せる日系企業や連邦政府関係者等、100名以上が参加し、**同分野に参入しやすい環境醸成の一助となる機会を創出**。

グラスルーツからの日米経済強化プロジェクト 今後の取組の方向性（「行動計画4.0」の策定）

本年1月のトランプ政権発足以降の米国政府の動きや、本年10月の高市総理及びトランプ大統領による日米首脳会談を始めとする日米関係の推移に鑑み、「行動計画4.0」を策定。

今後、同行動計画に沿って、経済分野における日米協力推進に資する取組及びその理解増進を、米国各地において、これまで以上に官民一体となって進めていく。

「行動計画4.0」: 経済分野での日米協力推進のための重点分野

◆ 日米両国の経済成長につながる協力

- 科学技術・イノベーションについて、日米協力や日本企業の取組を積極的に発信するとともに、経済安全保障上重要な分野について、日本企業による対米投資を更に促進するような環境を創出し、日米連携の重要性に関する発信に努める。また、エネルギーに関し、米国産天然ガスの購入拡大等の協力強化、産官学の取組等を強調する。

◆ 成長投資と人材力の強化

- 国際競争力の強化とイノベーション人材の育成に向け、我が国の強みを生かしたビジネス展開の促進等、米国進出日本企業の投資・雇用創出を促進する環境整備を推進する。

◆ 日本の貢献に関する米国民の認知向上

- 米国経済社会に対する貢献は非常に大きいことを踏まえつつ、地域の特徴に応じた「テーラー・メイド」のアプローチを通じて、日本企業の取り組みや日米協力の実績等を積極的に発信する。